

令和4年度

第5回 阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

令和4年度第5回 阿波市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和4年8月25日(木)

開会 午後2時00分

閉会 午後3時15分

2 場 所 阿波市役所 本庁 3階 306会議室

3 出席委員

教 育 長	高 田 稔
教育長職務代理者	庄 野 憲 二
委 員	重 清 由 充
委 員	西 淵 利 江
委 員	森 本 匡 史

4 会議出席者

教 育 部 長	森 友 邦 明
教 育 次 長	佐 藤 正 彦
教育次長兼教育総務課長	酒 卷 達 也
学 校 教 育 課 長	前 田 耕 志
学校給食センター所長	矢 部 泰 世
(書記) 教育総務課課長補佐	佐 坂 景 子

5 議題

- (1) 阿波市修学旅行キャンセル料等補助金交付要綱の制定について
- (2) 令和3年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について
- (3) 令和4年度阿波市一般会計補正予算(第5号)教育委員会所管部分について
- (4) 準要保護の認定について

会議の大要は、次のとおり。

【高田教育長】定例会を開催する旨を告げる。

前回会議録の承認について

【高田教育長】前回会議録の承認について何かご意見ございませんか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】それでは承認いたします。

教育長の報告について

【高田教育長】7月25日から8月25日までの、主だった教育委員会行事について報告。何かご質問はございませんか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】報告を終わり、議事に進みたいと思います。

議案第1号 「阿波市修学旅行キャンセル料等補助金交付要綱の制定について」

【高田教育長】議案第1号 「阿波市修学旅行キャンセル料等補助金交付要綱の制定について」事務局より説明をお願いします。

【前田学校教育課長】阿波市修学旅行キャンセル料等補助金交付要綱の制定について説明

【高田教育長】ただいまの議案第1号について、ご質問等ございますでしょうか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】それではお諮りいたします。議案第1号 「阿波市修学旅行キャンセル料等補助金交付要綱の制定について」は原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

【各委員】異議なし

【高田教育長】それでは、異議なしと認め、議案第1号は原案のとおり決定されました。

議案第2号 「令和3年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について」

【高田教育長】議案第2号「令和3年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について」事務局より説明をお願いします。

【森友教育部長】令和3年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について説明

【高田教育長】続いてお願いします。

【酒巻教育次長】ただ今の部長の説明の中にもありました、学識経験者の一人であります廣島先生から評価シート、評価の判定等について、2点ほど、ご提案がありましたので、教育総務課より説明させていただきます。85ページをご覧ください。提案1といたしまして、総合評価の判定について、「事業評価4項目の平均値を数値的目安としてはどうか」とのご提案がございました。こちらの提案についてですが、企画総務課で実施しております、市の事務事業評価に対する行政評価シートを参考に教育委員会においても、同様に合計点数での評価としておりますので、来年度以降についても、総合評価の判定につきましては、合計点数での評価で行いたいと考えております。参考値といたしまして、A評価は14点以上、B評価は10点以上13点以下、C評価6点以上9点以下、D表については、5点以下としております。提案2につきましては、評価シートの下から3番目、総合評価の（必要性・有効性・達成度・効率性）の並びについて、「（必要性・有効性・効率性・達成度）の並びに変更してはどうか」とのご提案でございます。この提案につきましては、廣島先生のご指摘のとおり、1ページの記載にあります、第1章3. 評価の方法①事業の評価（4項目・4段階）の並びとの整合性を考慮いたしまして、来年度より、提案のとおり変更したいと考えております。以上でございます。

【高田教育長】ただ今の件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたら、よろしく願いいたします。

【庄野委員】今回から令和3年度作成の阿波市第2次教育振興計画、前期計画に沿った点検及び評価ということで、項目が変わった部分もありますが、全体としては、先程の説明にもありましたが、A評価が増えています。これは、コロナ禍ではありますが、取組の効果が表れてきているのではないかと思います。3点のことについて意見や感想を述べさせていただきます。1点目は、14ページになります。「働き方改革の推進」についてです。校務支援システムの導入や在校時間の可視化などの取組によって、少しずつ改善されてきていると思います。ただ、8月18日付の徳島新聞に掲載されていましたが、学校は少子化が進んでいるにもかかわらず、デジタル対応など業務が拡大しているため、勤務状況は過酷になっているとありました。英語教育やプログラミング教育、キャリア教育、STEAM教育など次々と指導すべき内容が教育内容として入ってきています。阿波市においては、学力向上推進講師や英語指導講師の配置等の人的な支援やICT関連機器や教材等の物的な整備を積極的に行っていることで、先生方も助かってきていることと思います。ここからは私の意見になりますが、阿波市の特色ある取組の英語指導講師の活用の仕方についてです。もう一步踏み込んで小学校5、6年生では将来の教科担任制を見据えて、英語指導講師がT1で指導したらどうかと思います。そうすれば、担任の校務の軽減にもなるし、子どもたちのより一層の英語力の向上につながると思います。いろいろと難しい点もあるかと思いますが、一考をお願いします。2点目ですが、23ページの「阿波っ子スクールの運営」についてです。別の

資料で令和3年度の5月末の不登校者が小学校9名、中学校が39名とありました。中学生ではその39名の半分近い19名、そのうち4名ほどは、ほとんど通級できていないとのことですが入級していることになり、その活動内容も含めて、阿波っ子スクールが非常に大切な受け皿になっていることと思います。それなのに、総合評価がBということは、たぶん昨年5月時点で9名小学生の不登校者がいたのですが、その子どもたちがだれも入級していないからだと想像しました。以前から問題になっていましたが、以前、西瀬委員さんもおっしゃっていたリモートを活用する方法とかいろいろなやり方を他の市教委から取り入れて、将来の自立に向けて少しでも支援する方法を考えていただけたらと思います。3点目になりますが、最後にある一覧をお願いします。指標一覧の中に、コロナ禍で実績値が下がっているものもありますが、これは仕方がないと思います。小学校5年生の肥満傾向の割合についてですが、今年は過去5年間の子どもたちの資料を別に用意していただき、変化がよくわかりました。その資料を見ると、コロナ禍で心配していた運動量が減少しているということが、結果として如実に現れていると思います。昨年の5年生は肥満傾向が特に高いのですが、そのほかの学年も学年が上がるにつれて高くなっています。中学校になると部活の影響で減る傾向ですが、数年前の調査で徳島県の糖尿病になる割合が全国で一番高い、その中でも阿波市が一番高いと、阿波市は野菜をたくさん作っているのにその摂取量が大変低いというのがありました。また、昨年、重清委員さんが12歳男子の肥満率が徳島県が全国ワースト1位とおっしゃっていましたが、こういうことも考えると、今後、子どもたちの運動量をどう確保していくか、食事やおやつなどの食べ物について保護者や家庭にどう啓発していくか、より一層考えていただけたらと思います。以上3点についてよろしくお願いたします。

【森友教育部長】 最後の一覧の肥満度の件についてですが、昨年までおりました体力指導員が4月から8月末まで配置できておりませんでした。このたび応募がありまして9月1日からダンス講師の経験のある方が配属されるようになりますので、これから期待していただけたらと思います。

【佐藤教育次長】 不登校児童生徒についてですが、8月31日に不登校問題に関する対策協議会があります。各中学校区で生徒指導の先生や主任児童委員さん、子育て支援課、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーが集まって話し合いを持つ会になります。コロナ禍でできていなかったのが3年ぶりの開催になりますが、コロナの状況で各校に分かれて集まって行いますが、リモートを活用していろいろな支援について話し合います。

【庄野委員】 英語指導講師の件は、これは難しいと思いますが、せっかく英語指導講師を配置しているのは阿波市だけなので、活用できたら非常にいいと思うんですけども。やっぱり担任の先生になってもらったら学級経営の関係でいいという意見もあるんですけど、英語の力を子どもたちにつけていくのであればT1を英語指導講師の先生にさせていただいた方が非常にいいと思うのと、先生の負担が非常に減ると思います。5、6年生の担任の先生は非常に負担があると思うんです。

【高田教育長】昨日もある学校を訪問し、校長先生とお話をいたしました。英語指導講師というのは阿波市がいち早く取り入れたということで、すごく好評でした。実際の授業では、当然T1、T2という役割はありますが、市単ですのでなかなかそれは難しいです。とにかく、とても発音のいい英語を話していただけるということで子どもたちにはすごくプラスになっているということで、有効活用はしていただいていると思います。それから、健康面のことについては、私の方から少しお話させていただきます。18日に市の健康づくり推進委員会がありました。これは、教育委員会をはじめ、市の福祉部局もいろんな関係機関が集まって開催されました。その時に、私も発言させていただいたのですが、阿波市の現状というのは正直に言いまして、委員さんもお承知の通り厳しい現状があります。1歳半、3歳児健診の肥満傾向も非常に高いです。それに、5年生の調査が公になっていますが、小学校すべての学年のデータを見ても肥満児傾向の割合が高いです。さらに高齢者に至っては健康寿命がちょっと短いです。そういうデータが出ております。これもそんなに大きく改善されておられません。この状況をどうかしないとならないということで、この会が開催されております。その時に、小中学校での取組を学校から報告いただきました。もちろん体力向上の取組も必要なんですけれども、生活習慣の定着とか食育の取組、それから私が驚いたのが、各小学校の保健の先生が個別に保健指導をしていました。毎日のように希望があったら、体重を量ったり、保健の先生が気が付いたことを家庭に持ち帰ってもらったりというような、大人の保健指導を学校でしていると聞いて、すごいなあと思っておりました。当然、他の部局も色々なことをやってくれておりますが、私はその様子を見て、もう2、3年後には必ず結果が出ると信じておりますので、これからの取組の結果を期待しています。以上でございます。

【庄野委員】わかりました。

【高田教育長】ほかにございませんか。

【重清委員】お願いします。各課ごとに意見や感想、質問をしたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。最初に教育総務課からお願いします。まず、4ページと34ページのところなんですけど、特別教室の理科室、家庭科室のエアコン設置はもう完了済みですか。

【酒巻教育総務課長】来月から工事にかかる予定で、今年度中にすべて設置予定です。

【重清委員】今年度中ですね。

【酒巻教育総務課長】はい。

【重清委員】猛暑が続く中で、換気をしながらのエアコン使用ですので、使用料金などを考えますと大変だと思いますが、快適な環境の中で学んでいることは大変ありがたいと思っております。他市で聞きますと、先生がなかなかエアコンをつけてくれないというところもあるみたいで、子どもの方から「暑いけん、エアコンつけて。」と言ったら「まだその温度に達してない。」と言ってなかなかつけてくれないというところもあったようです。阿波市の方は28度以上とか温度の設定を決めてつけるようにはしているんですか。

【佐藤教育次長】そうですね。エアコン使用規定を作ってそれに基づいてしています。

【重清委員】それから4ページの(2)の一番下に阿波中学校武道館柔道場床その他改修工事とありますが、ここの床というのは畳ですか。

【森友教育部長】畳の下になります。畳の下、底が抜けてしまったんです。

【重清委員】あの新しい体育館のですか。

【森友教育部長】体育館ではなく、武道館です。

【重清委員】武道館があるんですか。新しい体育館のことではないのですね。

【西淵委員】すごく古いんです。

【重清委員】そうなんです。新しい体育館のことだと思っていたので、金額がかなりになるので、どうなのかなと思ひまして質問させていただきました。ありがとうございます。それから、32ページをお願いします。事業実績状況の土成小学校の大規模改修、これはかなりの金額がかかっていますが、どの程度の改修だったのでしょうか。学校訪問ができていれば、ここが改修されたんだなというのがわかるんですが、ここ何年か行けていないのでお尋ねします。

【森友教育部長】土成小学校の主な修理場所は、外壁、内壁のクラックの修理、廊下と教室の床を替えています。それから、照明をLEDに、教室の戸もはさまれても痛くないものに、あと、窓も強化ガラスになっています。

【重清委員】かなり改修されたということで、よかったです。ありがとうございます。それと、33ページの久勝小学校のプールのところで、スロープをつけられたとありますが、ここはやはり障がいのある児童生徒等に安全かつ円滑にと事業の対象に書かれてありますとおり、久勝小学校にスロープをつけられたということで、他校でつけられたところはあるんですか。

【酒巻教育総務課長】他でついているところは土成小学校と市場中学校です。

【重清委員】何か障がいのある児童生徒さんがいらっしゃるときに対応してくださったということですね。

【酒巻教育総務課長】そうです。

【重清委員】わかりました。教育総務課の方は以上になります。続きまして、学校教育課の方をお願いします。5ページの(4)義務教育終了祝金支給事業で阿波市の中学校に通う生徒全員に支給するというのでしょうか。329名というのは阿波市の中学校を卒業された全員ですか。

【前田学校教育課長】阿波市に住所を有する方が対象となりますので、3月の時点で支給をするんですが、それまでに対象者を把握しまして、住所が阿波市にある方で阿波市の中学校を卒業する方、もしくは阿波市の学校以外でも阿波市に住所があればその方も対象となります。学校を通して申請をしていただいて、それぞれの生徒さんの保護者の口座へ、支給額1万円を支給しております。今回が初めてなんです、対象者のすべての方に支給が終わっております。

【重清委員】ありがとうございます。では、次に9ページをお願いします。課題や今後の方針

のところですが、健康福祉部というのは子育て支援課のことになるかと思うのですが、健康福祉部と連携して英語活動を継続するとありますが、これは、公立のこども園と、ということになりますか。それとも民間のこども園の英語の指導状況も把握されているということでしょうか。

【前田学校教育課長】健康福祉部局の方の担当、子育て支援課になりますが、認定こども園が公立が5園、私立が4園あります。確認したところすべての園で英語活動を実施していることがわかりました。私立のこども園はかきはら子ども園とはやし子ども園、市場かもめこども園と久勝かもめこども園になりますが、市場と久勝につきましては、昔、ALTだった方に来ていただいて英語活動をしていると聞いています。公立の5園については、英語専門の保育教諭を1名雇いまして、その先生が5園を回っていると聞いています。

【重清委員】ここに書かれている英語指導講師というのは私立のこども園の方で、英語担当の保育教諭というのは公立のこども園の方ということですね。

【前田学校教育課長】はい。

【重清委員】そうですか。両方把握されているということがわかりました。やはり小学校につながるしていくのに公立だけではなく、私立の方でもどれくらい英語の力がついていくかというところで、できるだけどの学校でも公平であってほしいなと思ってお尋ねしました。ありがとうございます。続きまして、28ページ、30ページお願いします。通学路の点検のところで、昨年スクールゾーンが表示が消えてしまっているののでどうかしてほしいと要望を申し上げたところ、さっそく協議していただき、大変わかりやすくなっております。ありがとうございます。今後も定期的にお願ひしたいと思っております。

【前田学校教育課長】毎年、8月初旬に学校と市の建設課、県の担当課と警察の方を交えて、事前にPTAの方からも危険箇所を出していただいたり、写真を撮って各校から出てきますので、2日か3日かけて点検を行っております。要望がありましたら、その都度対応していきたいと思っております。

【重清委員】子どもの登下校は安全であることが大切です。安心しました。ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします。最後に、69ページと最後の表の成果指標「子どもの体力アップ事業」と「肥満傾向の児童の割合」、「正しい生活リズムの定着」、それから後からいただきました別紙参考資料の小中学生の肥満傾向ですが、先程、庄野先生、教育長さんからお話いただきましたので今後を期待したいと思うのですが、この表等いろいろ見させていただいて、考えられることは、先程も3歳から4歳のときも肥満傾向にあると教育長さんがおっしゃったように、幼少期からの食生活がすごく影響しているのではないかと私も考えております。健やかな体の育成のための体力づくり、正しい生活リズムの定着が大切だと思っております。学校では給食は栄養のバランスを考え作られたものを摂取しています。そして、学校ごとに毎年、体力向上計画を立て、コロナ禍における学校の新しい生活様式においてできる体力づくりを行っております。今後もぜひ学校でできる、休み時間、体育の

時間を活用した体力づくりを継続していただきたいと思います。ですが、いくら学校だけで栄養を摂取しても、運動をしても、子どもの規則正しい生活リズムの定着には家庭との連携が欠かせません。最後の表の「正しい生活リズムの定着」の欄の「朝食摂取状況」を見ると、毎年、実績値が少しずつ減ってきております。令和3年度で言えば、15%の子どもたちが朝食を摂取せずに学校に来ている状況です。正しく食事を摂取せず、間食やおやつなどのとりすぎも要因だと思います。69ページの課題や今後の方針にありますように、家庭や地域ぐるみの「生活づくり・体づくり」の環境整備や特に保護者への啓発を強化していただきたいと思います。よろしく願いいたします。続きまして、社会教育課の方をお願いします。7ページの(1)人権教育活動事業のところで①人権教育啓発のための各種研究大会・研修会、開催数が3回とあります。令和元年は9回で115人が参加、令和2年は1回行って2人と参加人数も書かれていたのですが参加人数はどうでしょうか。

【森友教育部長】この部分は確認ができておりませんので、後ほど調べておきます。

【重清委員】次に38ページです。図書館の入館者数、貸出点数、貸出者数がすべて4か所の図書館で増えています。読書の機会が増えることは大変良いことだと思います。その中で、図書の本の冊数が令和2年度は310,910冊であったものが令和3年度は309,803冊と1,107冊減っております。古くなったため処分したとか貸出したものが返ってこなかったり、そういうことがあるのでしょうか。

【森友教育部長】リサイクルなど処分した冊数が増えたことと、購入する本が値上がりしております。昨年、一昨年より本の単価自体が上がっているということで、購入する冊数が以前のように購入できなくなっていることが原因だということです。現時点でほしい1.2倍から1.5倍くらいになっている。それと、以前は文庫本を購入することが多かったんですが、最近はハードカバーの書籍を購入しているので冊数が少ないということをお聞きしております。

【重清委員】ありがとうございます。次に40ページですが、各公民館が講座を開催し、活動の充実を図っています。実績状況を公民館ごとに講座と参加人数が記載されていて大変わかりやすいです。総合評価が、令和2年はBから令和3年Aに上がっていることは大変理解できます。十分成果が上がっていると思います。公民館の指導員さんについてですが、公民館を利用されている方から聞いた話ですが、講座や会合の準備や後片付けを進んで手伝ってくださって大変ありがたいということをお聞きしております。ぜひとも公民館の指導員さんが場所が変わることなく、2年、3年というように同じ場所で定着していただければありがたいというお話も聞いております。また、指導員さんが講座の計画を立てられて参加人数も増えているということも聞いておりますので、大変ありがたいなと思っております。それと42ページ、内容は変わっていないのですが評価として十分成果が上がっているということでBからAに上がっているのは、どこが成果が上がったのかなと思ったのと、43ページのコロナで中止となったのは仕方がないのですが、講座実施の参加人数は増えているのにAからB

に下がっているというのが、コロナ禍の中で中止せざるを得ないところではありますが、一つ一つの講座の中で人数は令和2年度より増えているところが多いので、がんばっておられるのに下げなくてもよいのにと思いました。

【森友教育部長】採点方法が今年度からエクセルで数式化して点数付けをしています。これまでは担当の主観で総合評価をつけていたところがありましたが、今回から数値化して判定しておりますので、評価がAからB、BからAになったところもあります。

【重清委員】わかりました。次に、45ページですが、昨年の事業実績状況、内容を詳しくと申し上げたのですが、さっそくアンケート結果をわかりやすく表記してくださり、色々な講座を開催してくださっており、満足度もすばらしく、今後も市民のニーズに応じた講座をお願いしたいと思います。この講座の種類を見て大変びっくりしました。たくさんこういった講座があるんだなということで、市民の皆さんの満足度も高くて本当にありがたいことです。こうしてアンケートの結果を表記してくださってありがとうございます。それと47ページの事業実績状況のところ、スポーツ推進委員を派遣回数4回のうちの児童デイサービス1回というのは、デイサービスとはどのようなところですか。

【森友教育部長】児童デイサービスへというのは体育指導員が内容を聞きに行くというシステムと聞いております。発達障がいのお子さんが対象になります。

【重清委員】そこへ出向いて行ったということですね。ありがとうございます。社会教育課は最後になりますが、81ページ「英会話教室の開催」で、対象が市民ということで、外国語指導助手が3名いて何か所かで開催されているということですが、この教育委員会評価のところ、「幼児期から英語に親しめる環境づくりに取り組み、小学校での英語教育に繋がってください。」とありますが、市民を対象としているところにこのコメントってどうなのかなと思ってしまったのですが。

【森友教育部長】ご指摘のとおり、教育委員会評価につきましては、「英語に親しめる環境づくりに取り組み、学校での英語教育に繋がってください。」に修正いたします。

【重清委員】最後に給食センターのところ、今まで、教育委員の方々も地産地消で一生懸命がんばっておられるのにどうしてAでないのかと言っていたのが、今回Aになってよかったです。ちょっとお尋ねしたいのが、5ページの学校給食センターの(2)の一番下の認定こども園というのは、食事は各こども園で作っているんですね。

【矢部学校給食センター所長】そうですね、令和4年度からは各園で作っています。

【重清委員】3年度はまだあったということですか。では、令和3年度で終わりということで令和4年度の点検評価にはもうないということですね。

【矢部学校給食センター所長】そうですね。

【重清委員】わかりました。ありがとうございます。まだまだ続くコロナ禍ですが、新しい生活様式を取り入れながら、ICTを有効に活用し、子どもたちの学力向上推進を含め、先生方も、そして事業の一つ一つを実施するにあたり委員会の皆様もご努力されております。将来

の予測が大変難しい中ではありますが、市民の皆様、幼児、児童、生徒の皆様にとってよりよい74事業であってほしいと思っております。学識経験者の先生におかれましては、本当に一つ一つ事業ごとに丁寧にご意見、ご指導、そして期待の言葉をいただき、共感するところがたくさんありました。また、気づかされるところもあり、大変ありがたく感謝申し上げます。ぜひ今後に生かしていただきたいと思っております。私の方からは以上となります。

【西淵委員】 気になるところは他の委員さんがすべて聞いていただきましたので、感想だけです。今年の評価報告書は昨年に比べて、事業名を機能と設備とに分けてもらったり、事業実績状況が丁寧に記載されていて、私が見てもとても分かりやすい評価表になっていたのが、すごく助かりました。少し気になったのが、青少年育成センターへの相談件数が少し増えているのが、悩みを抱えている人が増えているのかなと感じて、今後子どもだけでなく、青少年の部分でも強化して欲しいというお願いと、コロナ禍が続いて、昨年に引き続きたくさんの事業が中止になっている中でも、地産地消のメニューの応募が増えてきたことや夏休みの体験学習が2年度にできなかったことが3年度はできたということを考えると、皆さんが工夫して開催できるようにご努力いただいていることがすごく伝わってきたので、今後とも子どもたちの学びの機会が減らないようお願いしたいと思います。私からは以上となります。ありがとうございました。

【森本委員】 個人的な感想になりますが、地産地消であったり、史跡巡りであったり、子どもの方からどこに行ってきたとよく聞きます。私、地元の生まれなのですが、知らない施設もけっこうありまして、教育でこういうことをしていただくというのは非常に良いことなんだなと改めてありがたいことだと思っております。それと、中学校の部活動ですが、かなり数が減ってきていますよね。成り立たないというか。そういった場合に、先程、教育長のお話にもありましたけれども、社会体育への移行とかは、スタートコーチ養成講習会とかもそういうの見据えて開かれているということなんではないでしょうか。選択の余地を広げるということとされているのかと思ったのですが。

【高田教育長】 委員さんがおっしゃるように、本当に学校の規模がだんだん小さくなって部活動数が減ってきております。当然子どもたちも入る部活動が、入ったとしても部活動が成立しないということもありまして、もしかしたら合同でしないといけない、実際にしている学校もあるんですが。やっぱりそこには課題がたくさんあります。それともう一つ、教育の働き方改革があるんです。小学校、中学校で言うと特に中学校が働き方改革が進まない。例えば、過労死ラインの80時間を超える先生がいまだにたくさんいます。それで、一番何が原因かというやはり部活動、運動部活動、文化部活動、両方ともある程度マニュアルを作って練習時間の制限時間を設けたりしているものの、やはりそれが大きな原因ということで、その部活動を地域移行する。そこで、今お話ありましたように、地域にもスポーツ団体とか指導者がいたら、まずは土日から部活動の地域移行をする。最終的には、今のスポーツ庁あたりは平日もそういった方向に移行するという方針を打ち出しております。しかし、阿波

市の事情から言いますと、指導者もまずいないですし、そういう団体があったとしても今の部活動の受け皿になるかと言いましたら、それもまだまだ話が進まないような状況ではありません。

【森本委員】部活が社会体育へ移行するという話ですよ。最終的に政府がやりたいと言っているのは。そこまではやっぱり時間がかかると思うんですけど、子どもの選択の幅を広げるとか先生の負担を少なくするという意味ではいい話なのかなと思いました。それと、図書室なんですけど、学校の図書室の本がかなり数が減っているような気がするんです。昔、僕らがいたときは、月何冊借りなさいという目標があって、学校の図書室もひと部屋丸々使って、本棚もけっこう密な感じだったように思うんですが、やはり図書室も数が減ってきているのでしょうか。

【佐藤教育次長】数は数えたことがないのですが、今は図書室で借りるのと市場小学校だったら市場図書館と連携して、毎月図書館からたくさん借りてきて廊下に並べておいて、そこで入れ替えをしていますね。また、図書室の本も市場図書館の司書の方に見ていただいて並べ替えてもらったり、入れ替えてもらったり、他市町村の学校に聞くと、古い本を処分して新しいものを取り入れていくという形でしているようです。

【森本委員】本を読む時間がかなり減ってきているような気がして、やっぱり人との会話であったり、将来仕事をするうえで物事を的確に把握するというか、自分の言葉を発するというのは、子どものときの読書が非常に大切だと思うので、この機会がちゃんと確保されている、四国でも阿波市が一番蔵書数多いと聞いたので、せっかくある資源なので活用していただきたいと思います。あと、ICTについてなんですけど、端末は一人1台は確保されているものなんでしょうか。

【佐藤教育次長】はい。一人1台ずつ持って帰っています。

【森本委員】そうなんです。本来の目的とは違うと思うのですが、これからコロナもまた広がってくると思われますし、学校閉鎖、学級閉鎖もあると思いますので、若者の逸失利益と言いますか、健康に留意して広がらないようにというのは目に見えやすいので制限すれば終わりなんですけども、子どもの成長というか失われた利益というのは数値化できないところがあるので、コロナが流行っているからと言って教育が止まるというのは、ちょっとおかしい話だと思いましたので質問させていただきました。非常にしっかりやっていたので、ありがたいことだと思いました。ありがとうございました。

【高田教育長】特に事務局からごさいせんか。

【佐藤教育次長】一点、廣島先生からのご指摘があったことについて、87ページになりますが、教職員の指導力とカウンセリング能力の向上は、児童生徒のへ対応については言及があるが教職員の指導力向上への取組が記載されてないとありまして、確認しまして、今年のお盆ごろに教職員の児童生徒理解など、そういった研修を企画しようと考えております。以上です。

【高田教育長】各委員さんからいろいろご意見いただきましたが、特にこの場でお答えしなければいけないことはございますでしょうか。大丈夫でしょうか。他にご質問はございませんか。では、議案第2号について承認いたします。

議案第3号 「令和4年度阿波市一般会計補正予算（第5号）教育委員会所管部分について」
議案第4号 「準要保護の認定について」

【高田教育長】次に、議案第3号につきましては、令和4年第3回阿波市議会定例会に提案予定の案件となります。また、議案第4号につきましては、個人情報が含まれる内容となりますので、会議規則第17条の規定により秘密会とし、非公開としてよろしいか。

【各委員】異議なし。

【高田教育長】異議なしと認め、議案第3号及び第4号は秘密会とし、非公開といたします。

〈秘密会〉

【高田教育長】秘密会を解きます。以上で本定例会に付議された議案はすべて終了しました。

その他

【高田教育長】委員、事務局に何かあるか尋ねる。

【庄野委員】今日の初めの教育長さんのお話の中で、子どもたちの欠席者が多いかもしれないということだったんですが、18日の徳島新聞に幼小中の教職員に検査キットを配布という記事がありました。希望する教職員に原則2回、検査キットで検査できるようになりますとあったんですが、阿波市で希望した方はいらっしゃるのでしょうか。

【佐藤教育次長】はい。いろいろな学校で希望がありまして、個人の希望になりますので、学校によっては数名であったり、学校のほとんどの教職員であったりしますが、各学校に配布をしているようです。結構な数があったと聞いています。

【高田教育長】ほかにございませんか。事務局側からはございませんか。それでは、以上をもちまして、令和4年度第5回阿波市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和4年8月25日

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

教育総務課課長補佐